

## 第4章 課題解決のための取組

### 4-1 課題解決のための取組、実施主体

整理した課題を解決する取組と実施スケジュールに従い実現化を進める実施主体を明記する。

区分	取組	実施主体
<b>視点1</b> <b>広域幹線バス</b>	<b>1-1【西海岸ルートの改善】</b> 基幹的な公共交通手段である西海岸ルート（修善寺～松崎～下田間）の持続可能な運行を行うため、時間短縮や利便性の向上を図るとともに、乗車が少ない区間（三島～修善寺間等）の効率性の向上や運行ダイヤなどの見直しを行う。	東海自動車
	<b>1-2【地域間路線の運行の見直し】</b> 乗車が極めて少ない時間帯の運行区間、運行ダイヤについて、路線別・時間帯別に見直しを行い、路線バス網の再編を行う。また、利用者の利便性の向上のため、登下校時間に対応したダイヤの調整を行う。	東海自動車
	<b>1-3【順天堂大学付属静岡病院への通院の利便性向上】</b> 西伊豆地域（松崎町、西伊豆町、伊豆市土肥地区）及び沼津市戸田地区から、順天堂大学付属静岡病院への通院について、既存の路線バスの所要時間の短縮など利便性の向上を図る。	沼津市、伊豆市 西伊豆町、松崎町 東海自動車 伊豆箱根バス
<b>視点2</b> <b>その他の路線バス</b>	<b>2-1【市町自主運行バスなどその他の路線バスの見直し】</b> 乗車が極めて少ない時間帯の運行区間、運行ダイヤについて、路線別・時間帯別に見直しを行い、路線バス網の再編を行う。デマンド型交通、自家用有償運送など新たな生活交通手段を検討する。また、利用者の利便性の向上のため、登下校時間に対応したダイヤの調整を行う。	沼津市、南伊豆町 松崎町、西伊豆町 東海自動車 伊豆箱根バス
<b>視点3</b> <b>交通空白地域</b>	<b>3-1【交通空白地域の解消】</b> 必要な公共交通の維持・確保により、公共交通人口カバー率の低下を防ぐとともに、既設の路線バス網の再編や、デマンド型交通、自家用有償運送など新たな生活交通手段の導入を検討し、交通空白地域の解消を図る。	沼津市、下田市 伊豆市、南伊豆町 松崎町、西伊豆町
<b>視点4</b> <b>交通結節点</b>	<b>4-1【沼津市戸田地区における交通結節点の改善】</b> 沼津市戸田地区の交通結節点について、乗り継ぎの改善や、わかりやすい運行案内や観光案内の提供など機能の充実を図る。また、地域の拠点である「道の駅くるら戸田」の活用を含めて改善を図る。また、戸田港が終点である沼津市の自主運行バス及びデマンドタクシーについて、あわせて見直しを行う。	沼津市 東海自動車
	<b>4-2【南伊豆町における交通結節点の改善】</b> 下賀茂バス停の交通結節点について、乗り継ぎの改善や、わかりやすい運行案内や観光案内の提供など機能の充実を図る。また、地域の拠点である「道の駅下賀茂温泉湯の花」の活用を含めて改善を図る。	南伊豆町 東海自動車
	<b>4-3【松崎町における交通結節点の改善】</b> 松崎バスターミナルにおいて、乗り継ぎの改善や、わかりやすい運行案内や観光案内の提供など機能の充実を図る。また、バサラ線と池代線の重複区間の解消のため、地域の拠点である「道の駅花の三聖苑」の活用を含めて検討を行う。	松崎町 東海自動車
	<b>4-4【土肥港における交通結節点の改善】</b> 土肥港は西伊豆地域の玄関口の一つであるため、乗り継ぎの改善や、わかりやすい運行案内や観光案内の提供など機能の充実を図る。	伊豆市 東海自動車 駿河湾フェリー
	<b>4-5【その他交通結節点の改善】</b> 枝線との接続箇所や学校に近接したバス停など交通結節点について、路線バスの見直しにあわせ、乗り継ぎの改善や、わかりやすい運行案内や観光案内の提供など機能の充実を図る。	各市町 各交通事業者

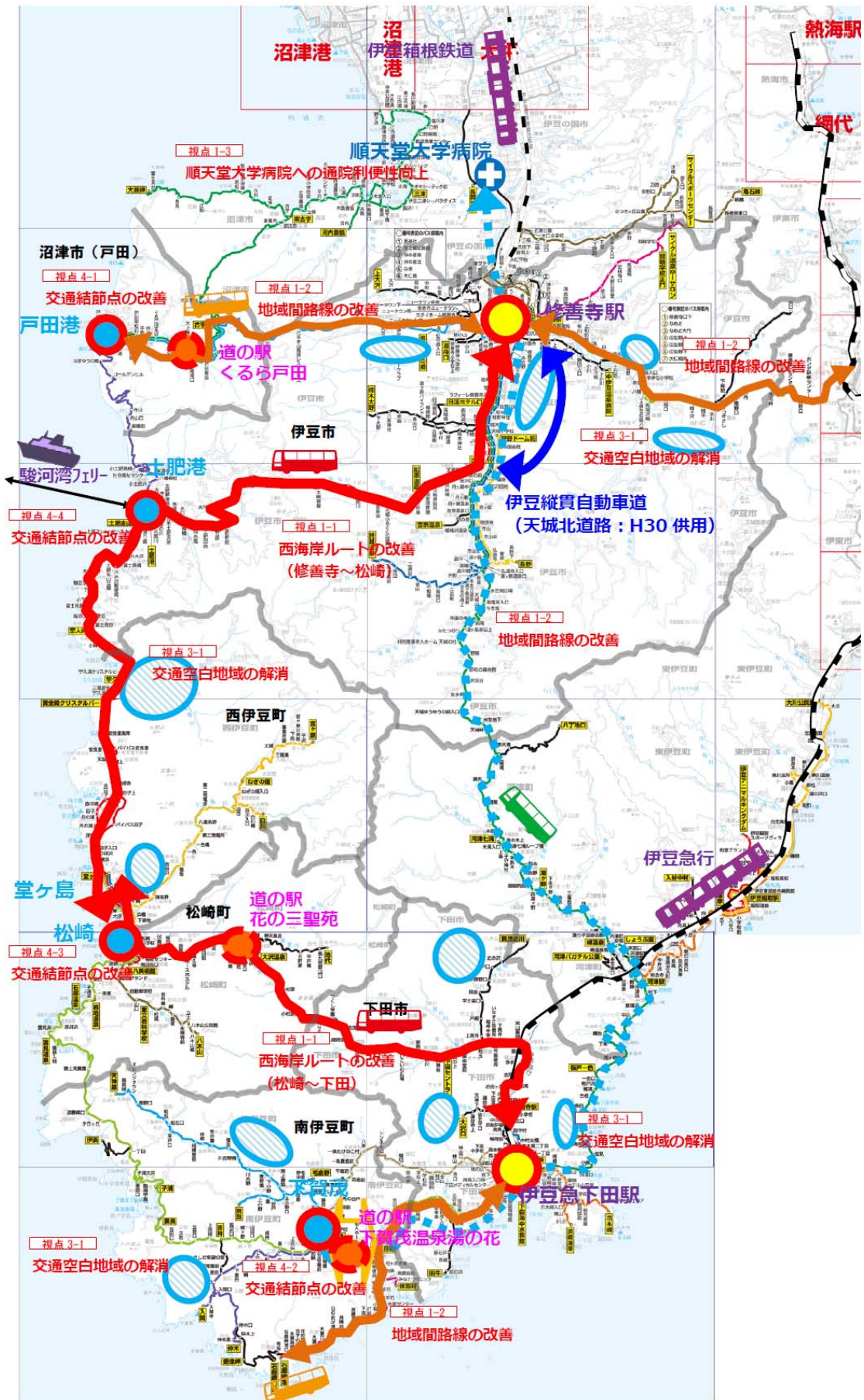
課題	取組（案）	実施主体
<p>視点 5 観光客の移動</p>	<p><b>5-1 【新たな周遊きっぷの作成】</b> 伊豆半島を訪れる観光客がさらに円滑に周遊ができるよう、複数の交通機関を利用できる新たな周遊きっぷの作成や、観光客の認知度が低い周遊バスや企画切符の情報発信を行う。 また、自動車を利用して地域内を訪れる観光客が公共交通を利用して周遊できるよう、パークアンドライドや周遊キップ・特典などの方策の検討を行う。</p>	<p>各市町 県観光協会 市町観光協会 各交通事業者</p>
	<p><b>5-2 【地域内を周遊できる公共交通の利活用等】</b> 主要な結節点を発着し、観光地を広域に周遊できるバスの運行を検討するとともに、自主運行バスの利用促進のため、市町自主運行バスと連携した周辺観光ルートの検討を行う。 また、様々な交通手段を活用したモデルコースの検討を行う。</p>	<p>各市町 県観光協会 市町観光協会 各交通事業者</p>
	<p><b>5-3 【交通結節点における案内の充実】</b> 増加が見込まれる外国人観光客への案内表示や、乗換え場所の分かりやすい案内の充実を図る。</p>	<p>各市町 県観光協会 市町観光協会 各交通事業者</p>
	<p><b>5-4 【地域内を周遊できる交通手段の検討】</b> 地域内を周遊できる交通手段について、各市町の主要な結節点への機能付加や、その周知方策の検討を行う。</p>	<p>各市町 県観光協会 市町観光協会 各交通事業者</p>
	<p><b>5-5 【旅行を補助するウェブサイトや観光マップの作成】</b> 観光案内や運行案内を一元的に提供できるシステムやアプリケーションの作成を行う。また、観光情報と運行情報が同時に入手できるマップの作成を行う。</p>	<p>各市町 県観光協会 市町観光協会 各交通事業者</p>

## 4-2 実施スケジュール

項目	取組	実施主体	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
【視点1】 広域 幹線バス	1-1 西海岸ルートの改善	東海自動車	検討	準備	実施		
			検討(再編実施計画)	準備	実施		
	1-2 地域間路線の運行の見直し	東海自動車	検討	準備	実施		
			検討(再編実施計画)	準備	実施		
	1-3 順天堂大学病院への通院の利便性向上	沼津市、伊豆市 西伊豆町、松崎町 東海自動車 伊豆箱根バス	検討	準備	実施		
【視点2】 その他の 路線バス	2-1 市町自主運行バスなど その他の路線バスの見直し	沼津市、南伊豆町 松崎町、西伊豆町 東海自動車 伊豆箱根バス	検討	準備	実施		
			検討(再編実施計画)	準備	実施		
【視点3】 交通空白 地域	3-1 交通空白地域の解消	沼津市、下田市 伊豆市、南伊豆町 松崎町、西伊豆町	検討	準備	実施		
			検討(再編実施計画)	準備	実施		
【視点4】 交通結節点	4-1 沼津市戸田地区 における交通結節点の改善	沼津市 東海自動車	検討	準備	実施		
	4-2 南伊豆町 における交通結節点の改善	南伊豆町 東海自動車	検討	準備	実施		
	4-3 松崎町 における交通結節点の改善	松崎町 東海自動車	検討	準備	実施		
	4-4 土肥港 における交通結節点の改善	伊豆市 東海自動車 駿河湾フェリー	検討	準備	実施		
	4-5 その他交通結節点の改善	各市町 各交通事業者	検討	準備	実施		
【視点5】 観光客の 移動	5-1 新たな周遊きつぷの作成	各市町 県観光協会 市町観光協会 各交通事業者	検討	準備	実施		
	5-2 地域内を周遊できる 公共交通の利活用等	各市町 県観光協会 市町観光協会 各交通事業者	検討	準備	実施		
	5-3 交通結節点における 案内の充実	各市町 県観光協会 市町観光協会 各交通事業者	検討	準備	実施		
	5-4 地域内を周遊できる 交通手段の検討	各市町 県観光協会 市町観光協会 各交通事業者	検討	準備	実施		
	5-5 旅行を補助するウェブサイト や観光マップの作成	各市町 県観光協会 市町観光協会 各交通事業者	検討	準備	実施		

※各取組ともできる限り前倒して実施すること

### 4-3 取組位置図

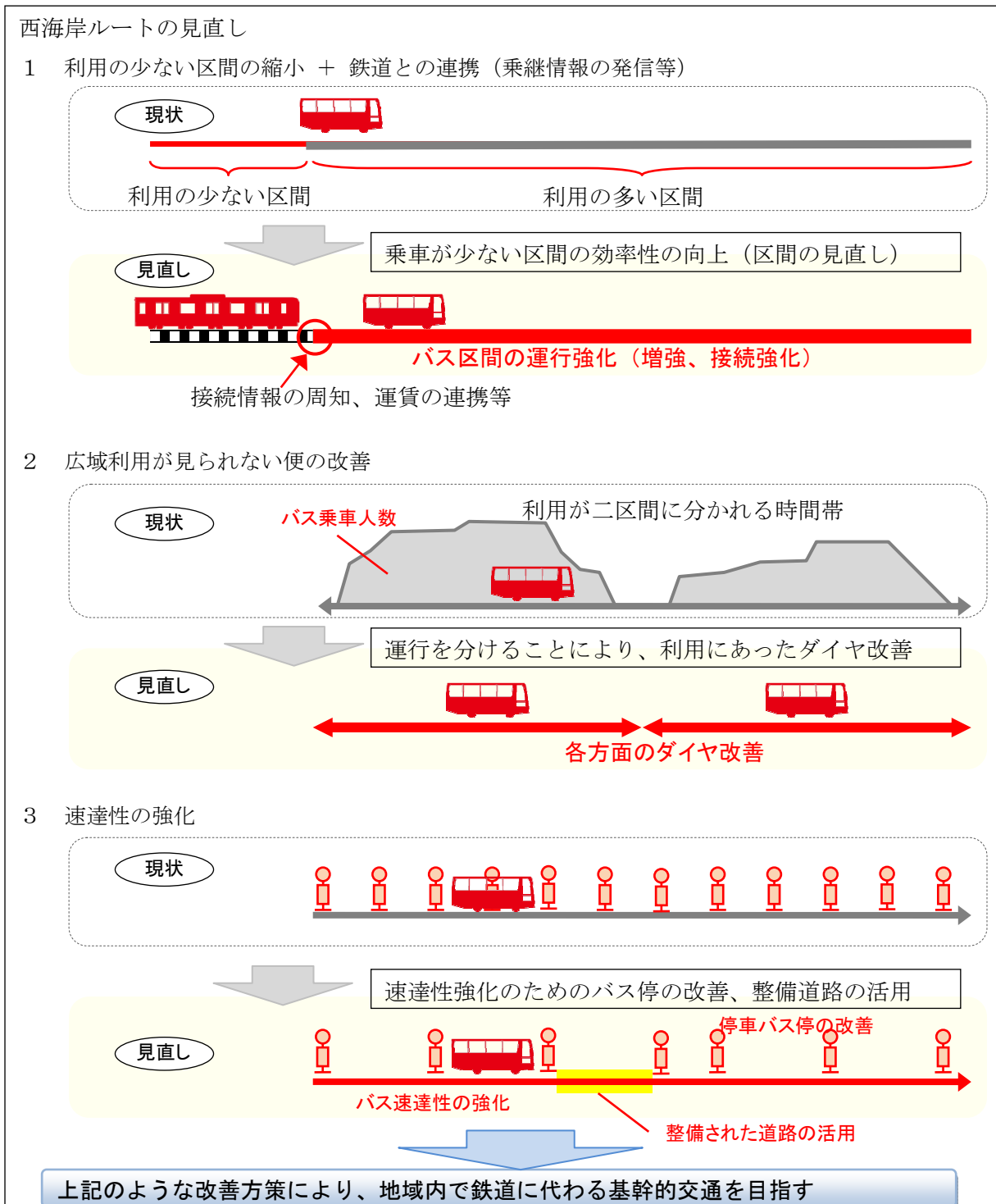


## 4-4 取組内容

### 視点1 広域幹線バス

#### 1-1【西海岸ルート<sup>①</sup>の改善】（実施主体：東海自動車）

鉄道がない当地域における基幹的な公共交通手段である西海岸ルート（修善寺駅～松崎～下田駅間）の持続可能な運行を行うため、時間短縮や利便性の向上を図るとともに、乗車が少ない区間（三島駅～修善寺駅間等）の効率性の向上や運行ダイヤなどの見直しを行う。



## 1-2 【地域間路線の運行の改善】（実施主体：東海自動車）

乗車が極めて少ない時間帯の運行区間、運行ダイヤについて、路線別・時間帯別に見直しを行い、路線バス網の再編を行う。また、利用者の利便性の向上のため、登下校時間に対応したダイヤの調整を行う。

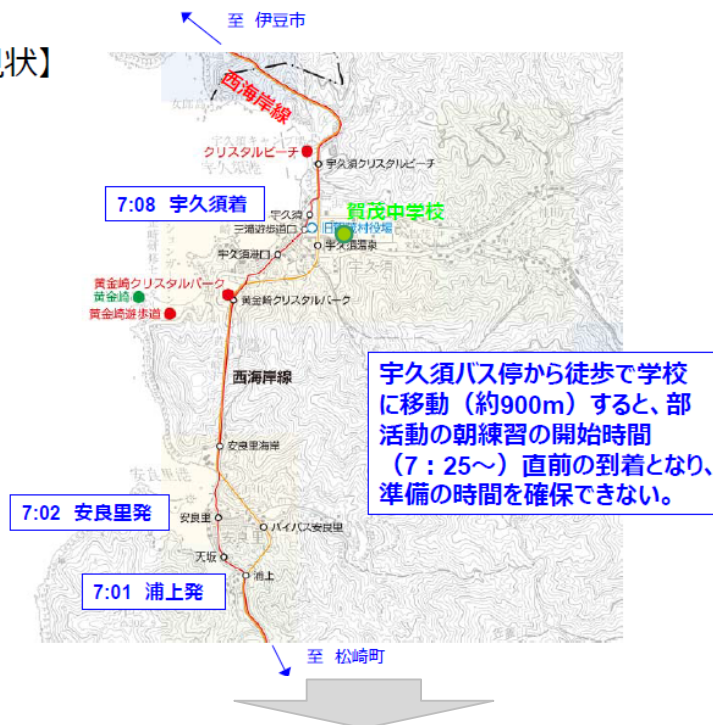
登下校時間に応じたダイヤ調整、路線調整の工夫の例 ～その1～

※以下は、平成 28 年 4 月より見直しを実施する内容

### ■西伊豆町賀茂中学校への路線バス通学の改善について

始発便の調整により中学校への通学（部活動の朝練習）がしやすい運行に改善する。

#### 【現状】



#### 【変更】

H28.4～



登下校時間に応じたダイヤ調整、路線調整の工夫の例 ～その2～

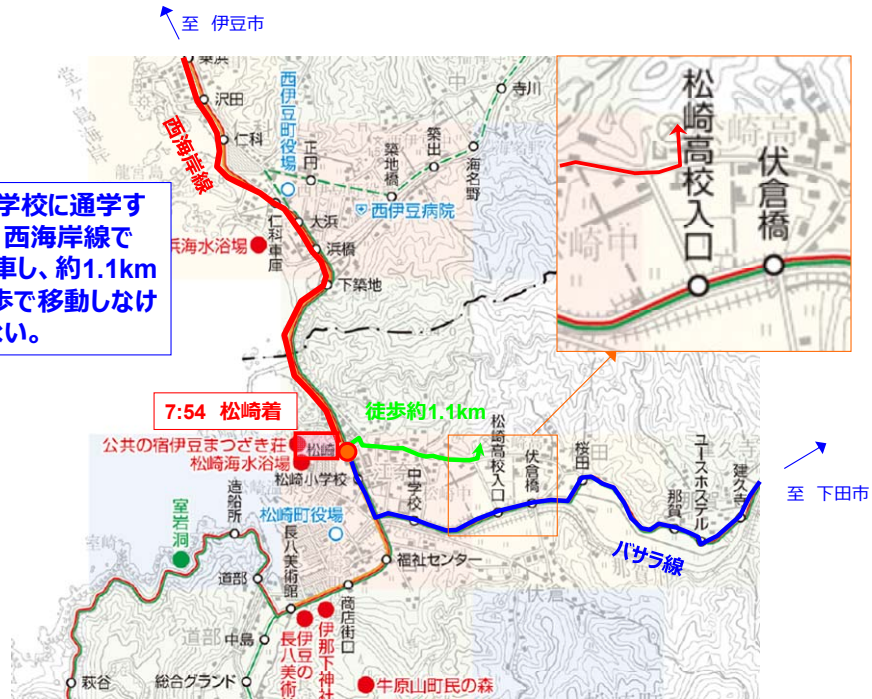
※以下は、平成28年4月より見直しを実施する内容

■ 東部特別支援学校伊豆松崎分校への路線バス通学の改善について

特別支援学校へ通学する生徒が、バス停から徒歩で通学しなければならなかったが、路線間の調整、また経路の調整により、直接学校へ到達することができるよう改善をする。

【現状】

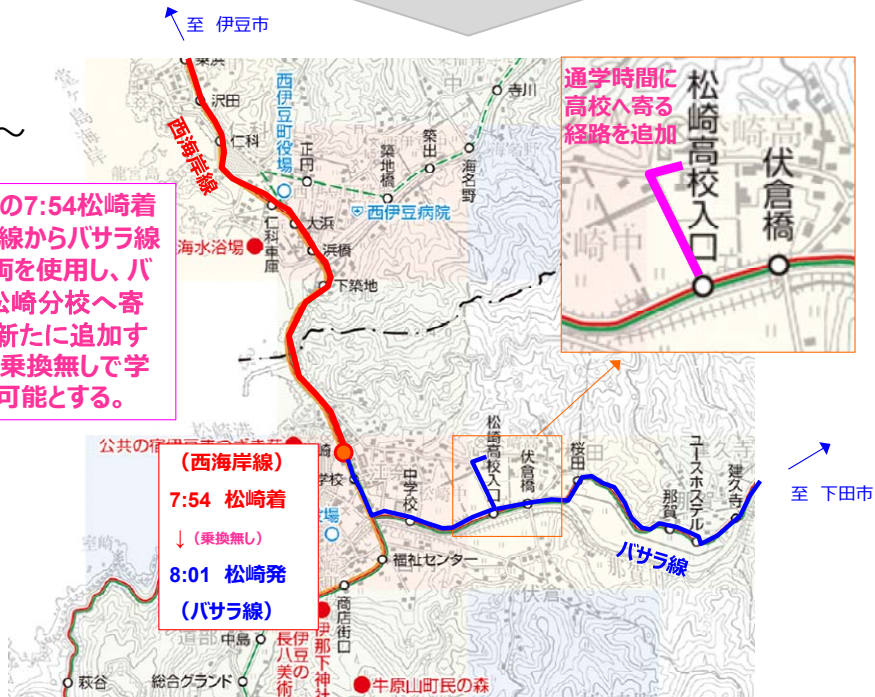
特別支援学校に通学する学生は、西海岸線で松崎で降車し、約1.1kmの間を徒歩で移動しなければならない。



【変更】

H28.4～

通学時間の7:54松崎着の西海岸線からバサラ線へ同じ車両を使用し、バサラ線を松崎分校へ寄る経路を新たに追加することで、乗換無しで学校へ到達可能とする。



### 1-3 【順天堂大学附属静岡病院への通院の利便性向上】

(実施主体：沼津市、伊豆市、西伊豆町、松崎町、東海自動車、伊豆箱根バス)

松崎町、西伊豆町、伊豆市土肥地区及び沼津市戸田地区から順天堂大学附属静岡病院への通院について、既存の路線バスの所要時間の短縮など利便性の向上を図る。



## 視点2 その他の路線バス

### 2-1 【市町自主運行バスなどその他の路線バスの改善】

(実施主体：沼津市、南伊豆町、松崎町、西伊豆町、東海自動車、伊豆箱根バス)

乗車が極めて少ない時間帯の運行区間、運行ダイヤについて、路線別・時間帯別に見直しを行い、路線バス網の再編を行う。また、デマンド型交通、自家用有償運送など新たな生活交通手段を検討する。また、利用者の利便性の向上のため、登下校時間に対応したダイヤの調整を行う。



#### 1 ダイヤの調整

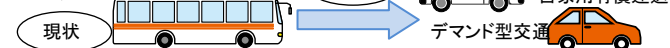
利用の少ないダイヤについて、地域住民の移動ニーズ(例：午前中の買い物からの帰宅)や、児童・生徒の下校に対応したダイヤ変更を行い利便性向上を図る。

	7時台	8時台	9時台	10時台	11時台	12時台	13時台	14時台	15時台	16時台	17時台	18時台
現状	●		●		●	●	●		●		●	●
見直し	●		●		●	●	●	●	●		●	●

ダイヤ変更

#### 2 運行方法の検討

既存のバス車両による定時定路線の運行から、デマンド型交通や自家用有償運送などへの運行方法の変更を検討し、持続可能な交通とするともに利便性向上を図る。

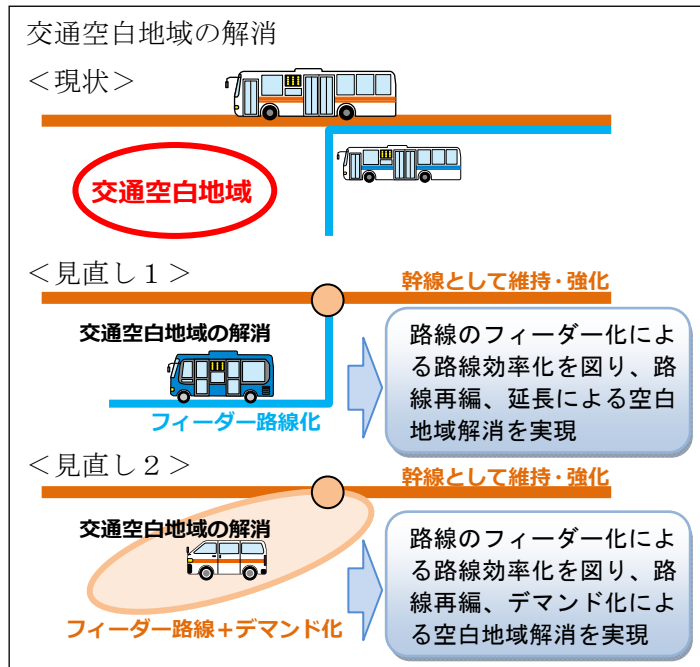
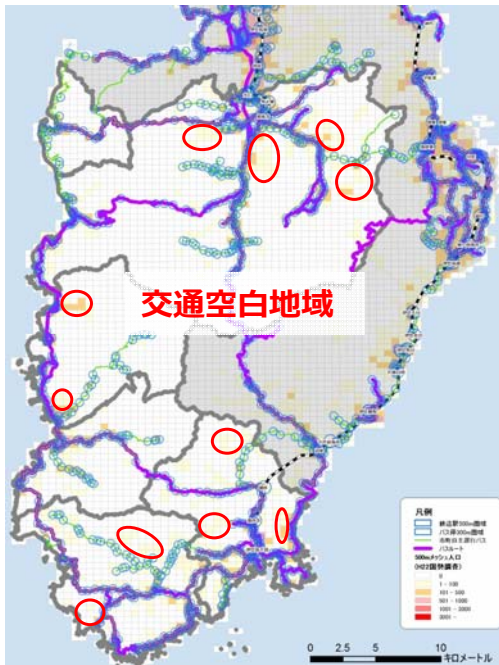




### 視点3 交通空白地域

#### 3-1 【交通空白地域の解消】（実施主体：沼津市、下田市、伊豆市、南伊豆町、松崎町、西伊豆町）

必要な公共交通の維持・確保により、公共交通人口カバー率の低下を防ぐとともに、既設の路線バス網の再編や、デマンド型交通、自家用有償運送など新たな生活交通手段の導入を検討し、交通空白地域の解消を図る。



### 視点4 交通結節点

#### 4-1 【沼津市戸田地区における交通結節点の改善】（実施主体：沼津市、東海自動車）

沼津市戸田地区の交通結節点について、乗継ぎの改善や、分かりやすい運行案内や観光案内の提供など機能の充実を図る。また、地域の拠点である「道の駅くるら戸田」の活用を含めて改善を図る。また、戸田港が終点である沼津市の自主運行バス及びデマンドタクシーについて、あわせて見直しを行う。



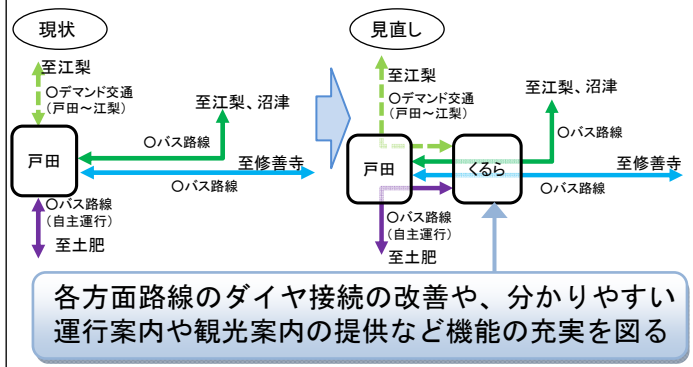
戸田港バス停



道の駅くるら戸田

#### 道の駅くるら戸田を活用した見直し

地域の拠点である「くるら戸田」を交通拠点（結節点）として活用し、戸田から各地域を結ぶ路線を接続する。なお、乗り継ぎやすいダイヤ接続に留意するとともに、待合環境としての施設の活用を図り、さらに利用者に分かりやすい運行情報を提供する。



#### 4-2 【南伊豆町における交通結節点の改善】（実施主体：南伊豆町、東海自動車）

下賀茂バス停の交通結節点について、乗継ぎの改善や、分かりやすい運行案内や観光案内の提供など機能の充実を図る。また、地域の拠点である「道の駅下賀茂温泉湯の花」の活用を含めて改善を図る。



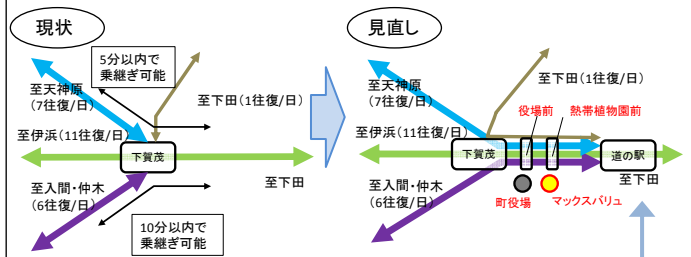
下賀茂バス停



道の駅下賀茂温泉湯の花

##### 道の駅下賀茂温泉湯の花を活用した改善

地域の拠点である「道の駅下賀茂温泉湯の花」に交通結節機能を付加することで、町民の買い物利用施設であるマックスバリュなどへのアクセスの利便性向上を図る。なお、現在と同様に各方面のダイヤ接続に留意するとともに、待合環境としての道の駅の活用、分かりやすい運行情報の提供を行う。



交通結節点の機能付加により、町民の買物や、町を訪れる観光客の利便性向上を図る

#### 4-3 【松崎町における交通結節点の改善】（実施主体：松崎町、東海自動車）

松崎バスターミナルにおいて、乗継ぎの改善や、分かりやすい運行案内や観光案内の提供など機能の充実を図る。また、バスラ線と池代線の重複区間の解消のため、地域の拠点である「道の駅花の三聖苑」の活用を含めて検討を行う。

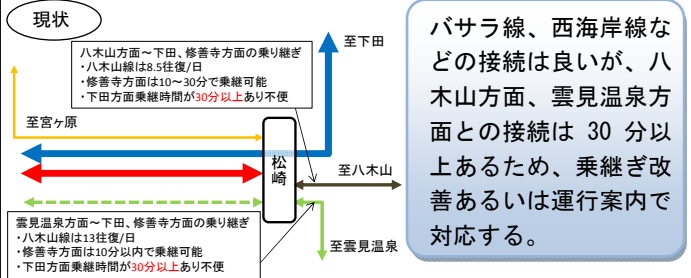


松崎バスターミナル

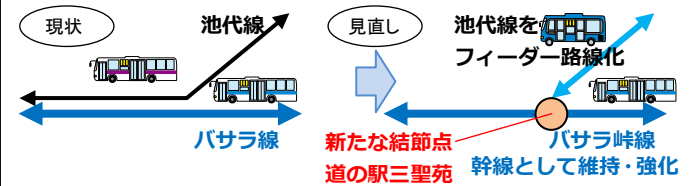


道の駅花の三聖苑

##### 松崎バスターミナルの乗り継ぎの改善



##### 道の駅三聖苑を活用した改善



池代線のフィーダー化による路線効率化を図り、路線再編と利便性向上を図る。結節点として道の駅花の三聖苑を活用する。

#### 4-4 【土肥港における交通結節点の改善】（実施主体：伊豆市、東海自動車）

土肥港は西伊豆地域の玄関口の一つであるため、乗継ぎの改善や、分かりやすい運行案内や観光案内の提供など機能の充実を図る。



土肥港のバス停等

土肥港にてフェリーとバスの接続において、30分以上の乗継ぎ待ちを要する便を赤字で表示している。なお、フェリー待合所においては周辺バス乗り場を含めたバスの時刻表が案内されている。

**フェリーとバスの接続**

現状 駿河湾フェリー 至清水港

清水港行き	土肥港行き
09:20発	09:05着
12:00発	11:45着
14:40発	14:25着
17:20発	17:05着

土肥温泉

土肥港

至堂ヶ島

○バス路線～フェリーの乗継

・(バス)土肥港発 ※修善寺行き 09:28発 12:48発 14:48発 17:48発	・(バス)土肥港着 ※修善寺始発 08:58着 11:23着 14:23着 16:18着
・(バス)土肥港着 ※松崎始発 08:39着 11:47着 14:19着 16:47着	・(バス)土肥港発 ※松崎行き 09:30発 12:15発 14:40発 17:20発

**バスへの接続案内**

乗継ぎの改善、分かりやすい運行案内、観光案内の提供など機能の充実を図る

#### 4-5 【その他交通結節点の改善】（実施主体：各市町、東海自動車）

枝線との接続箇所や学校に近接したバス停など交通結節点について、路線バスの見直しに合わせ、乗継ぎの改善や、分かりやすい運行案内や観光案内の提供など機能の充実を図る。

乗継ぎのしやすさイメージ (例) 埼玉県ときがわ町の結節点 (例) 運行情報案内の例

### 視点5 観光客の移動

#### 5-1 【新たな周遊きっぷの作成】（実施主体：各市町、県・市町観光協会、交通事業者）

伊豆半島を訪れる観光客がさらに円滑に周遊ができるよう、複数の交通機関を利用できる新たな周遊きっぷの作成や、観光客の認知度が低い周遊パスや企画切符の情報発信を行う。

また、自動車を利用して地域内を訪れる観光客が公共交通を利用して周遊できるよう、パークアンドライドや周遊キップ・特典などの方策の検討を行う。


**5-2 【地域内を周遊できる公共交通の利活用等】**（実施主体：各市町、県・市町観光協会、交通事業者）

主要な結節点を発着し、観光地を広域に周遊できるバスの運行を検討するとともに、自主運行バスの利用促進のため、市町自主運行バスと連携した周辺観光ルートの検討を行う。

また、様々な交通手段を活用したモデルコースの検討を行う。

路線バスを活用した観光モデルコースの例

**■福島交通の路線バスと観光のパック例**  
 福島バス物語：路線バスの乗車券と各施設利用券が一緒になったお得なセット券




No. 65 気軽に、手軽に日帰り温泉リゾート「バーデン温泉」日帰り入浴パック  
大人1,210円 小人710円

No. 67 南湖公園と小峰城の散策&白河蕎麦満喫パック！  
大人1,200円 小人1,000円

このコースでは、江戸時代の歴史を元にした小峰城の「三石橋」と「前御門」が平安定信により築造された市民共栄の思想をかけた日本橋と名われる「南湖公園」など、白河市の観光地を巡ることが出来ます。またパックについてくれる「白河蕎麦」は、信州、出雲、徳島とにも日本最大

**■十勝バスの路線バスと観光のパック例**  
 日帰り路線バス：施設利用券とバス往復乗車券がセット（タクシーとのセットもあり）




「おびひろ1dayスイーツ満喫」バスパック  
 バック内容  
 乗車券  
 1,400円  
 のっぺ  
 大人/1,350円・小人/900円

「新嵐山スカイパーク」バス&タクシーパック  
 バック内容  
 乗車券  
 大人/3,400円  
 のっぺ

**5-3 【交通結節点における案内の充実】**（実施主体：各市町、県・市町観光協会、交通事業者）

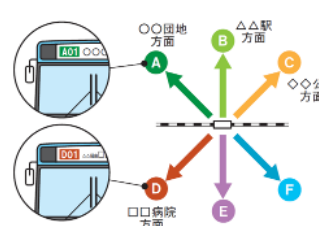
増加が見込まれる外国人観光客への案内表示や、乗換え場所の分かりやすい案内の充実を図る。

**■一般案内用図記号による案内表示**




TAXI  
バス  
自転車  
船

**■路線の記号化による案内**




△△駅方面  
○○団地方面  
◇◇公園方面  
□□病院方面

**■案内の多言語化**




外国人観光客受け入れのための多言語案内表示ガイドライン（国交省）

**交通案内**



**■駅でのバスとのダイヤ接続の案内**



鉄道の到着	バスの出発	バスの到着	鉄道の出発
10時30分着	○○行き 10時40分発 ○○行き 10時45分発 ○○行き 10時50分発	○○方面から 14時35分着 ○○方面から 14時40分着 ○○方面から 14時45分着	→ 15時00分発
12時00分着	○○行き 12時10分発 ○○行き 12時15分発 ○○行き 12時20分発	○○方面から 15時35分着 ○○方面から 15時40分着 ○○方面から 15時45分着	→ 16時00分発

バス区間の運行強化（増強、接続強化）

**5-4 【地域内を周遊できる交通手段の検討】**（実施主体：各市町、県・市町観光協会、交通事業者）

地域内を周遊できる交通手段について、各市町の主要な結節点への機能付加や、その周知方策の検討を行う。



**5-5 【旅行を補助するウェブサイトや観光マップの作成】**（実施主体：各市町、県・市町観光協会、交通事業者）

観光案内や運行案内を一元的に提供できるシステムやアプリケーションの作成を行う。また、観光情報と交通情報が同時に入手できるマップの作成を行う。

観光と交通の情報マップ（京都市の例）

